

様式

| | | | | | |
|-------|---|-------|--------|-----------------------------|--------------|
| 技術名称 | 津波防災計画に係る予測評価技術 | 技術の分類 | 数値解析手法 | NETIS登録の有無 (有場合はNETIS番号) | |
| 会社名等 | 東電設計株式会社 | 担当者 | 阿部 光信 | 連絡先 | 03-6372-5483 |
| 技術の概要 | これからの津波防災計画の策定に当たっては、津波の高さや遡上域の予測だけでなく、津波によって発生するさまざまな現象を適切に予測することが求められる。ここでは、津波の伝播・遡上に伴う①津波による海底地形変化、②津波による浮体の漂流移動、③陸上構造物に作用する遡上津波波力の3つの予測評価技術について発表する。 | 添付資料 | パンフの有無 | 有り | |
| | | | その他の資料 | 発表論文 | |
| 技術の特徴 | <p>①津波による海底地形変化予測技術は、津波来襲後の岸壁・護岸前面や航路・泊地での土砂堆積、航路埋没を予測する数値解析手法で、港湾施設の事業継続計画に活用できる。</p> <p>②津波による浮体の漂流移動予測技術は、港湾内に停泊している小型船舶等の漂流移動経路、防波堤や護岸の乗り越え等を予測する数値解析手法で、港湾施設の被害予測に活用できる。</p> <p>③遡上津波波力評価技術は、遡上した津波が陸上の矩形建物や円筒タンクに作用する波力を評価する手法(波力評価式)で、港湾区域内の施設の被害予測や防災計画に活用できる。</p> <p>なお、以上の技術は、いずれも水理模型実験によって検証されたものである。</p> | その他 | | | |

※複数の技術について発表をご希望の場合は技術ごとに記載願います。